

CI-NET運用事例

平成24年2月24日
株式会社ミルックス
情報システム部
箕輪 篤人

当社の業務内容



CI-NETの主な対象業務

◆建築工事関連

- 建築工事
- 建設資機材
- 建設計測器

◆土木工事関連

- 地業工事
- セメント・生コンクリート材料
- トンネル・シールド工事
- その他土木関連資材

◆内装工事・鉄筋工事

- 軽量鉄骨下地工事、
ボード貼り工事、
耐火遮音間仕切り工事、
グラスウール貼り工事
- ミルックス グリッド天井システム
- ハイラートンPFグリッド天井
- 一式内装工事
- 鉄筋工事

◆警 備

導入～現在までの経緯(その1)

H14.7 見積、注文 本格運用開始

H15.10 SCM機能追加 協力業者との契約数増加

H16.4 業務システムへの注文データ連携機能追加

H21.2 出来高・請求実施に向けたVer.UP(Ver.2.1)

H21.4 出来高・請求運用開始

H21.4 業務システムへの出来高・請求データ連携機能追加

H23.11 契約の枝番化対応

導入～現在までの経緯(その2)

H.14年

16年

18年

20年

22年

24年

見積・注文 本格運用開始(清水建設・協力業者)

SCM機能追加 ⇒ 協力業者との契約数増加

業務システム連携 (受注・内訳明細)

C-TRADE V-UP
(Ver.2.1)

出来高・請求 運用開始

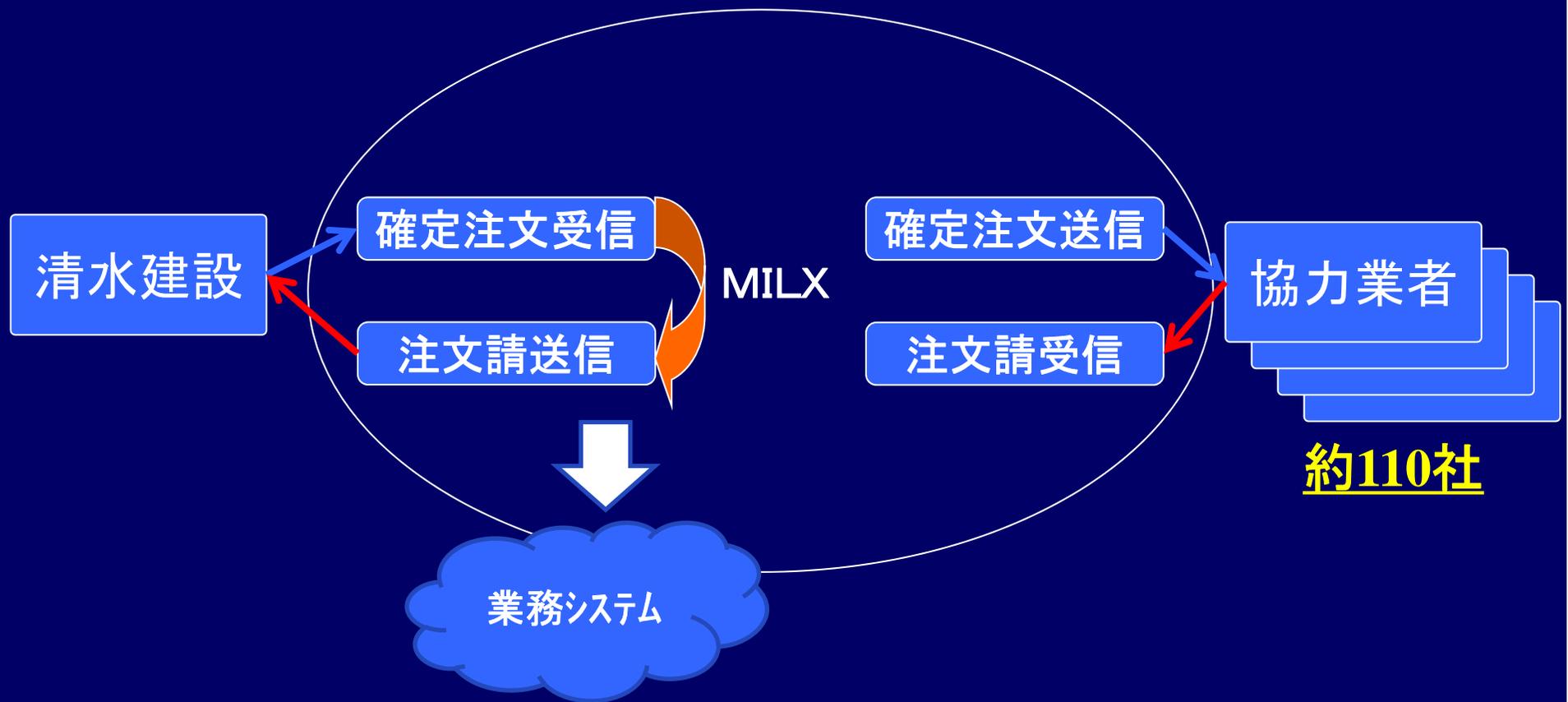
業務システム連携(出来高・請求)

枝番対応

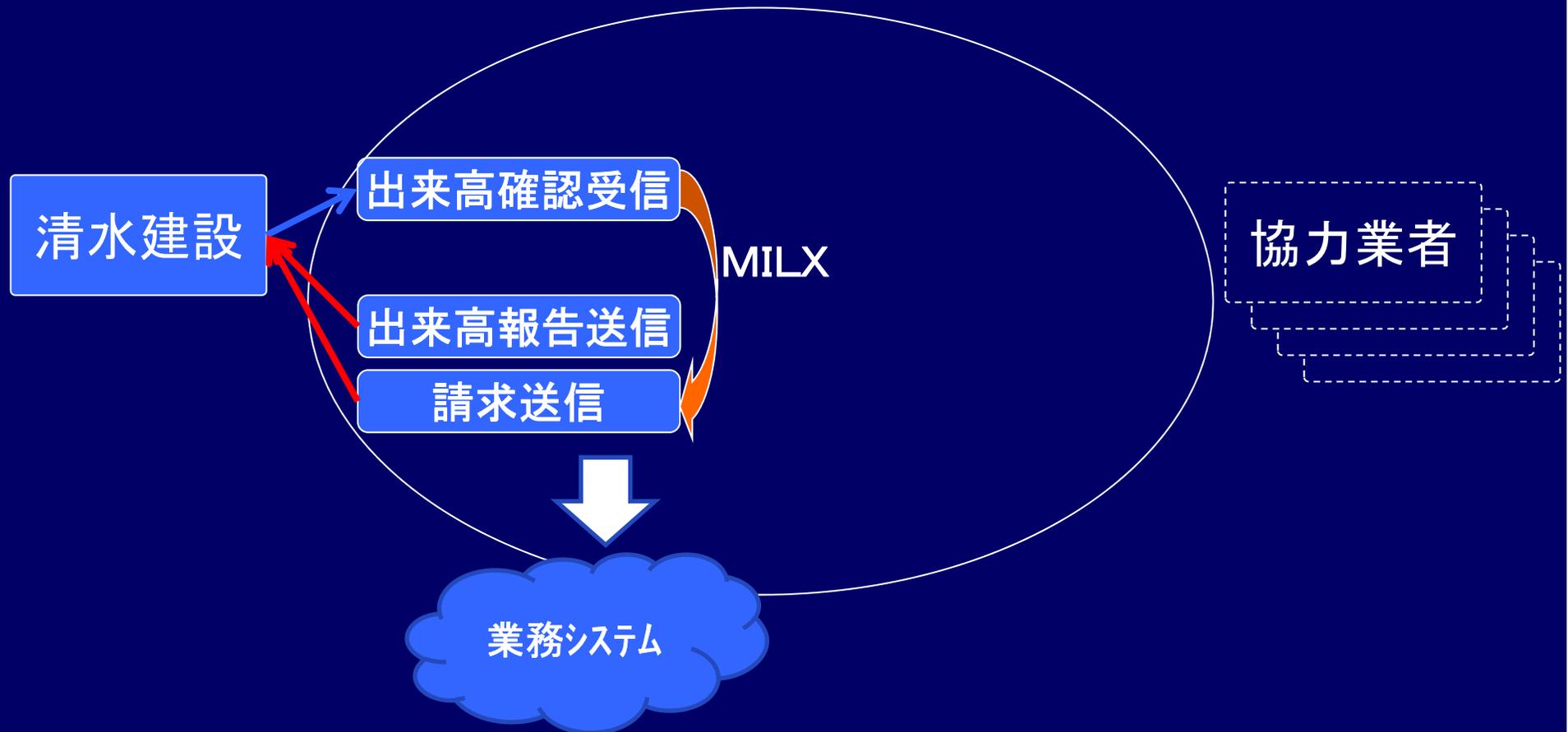
機能イメージ(見積)



機能イメージ(注文)



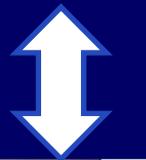
機能イメージ(出来高・請求)



動作環境 (EDI)

EDI

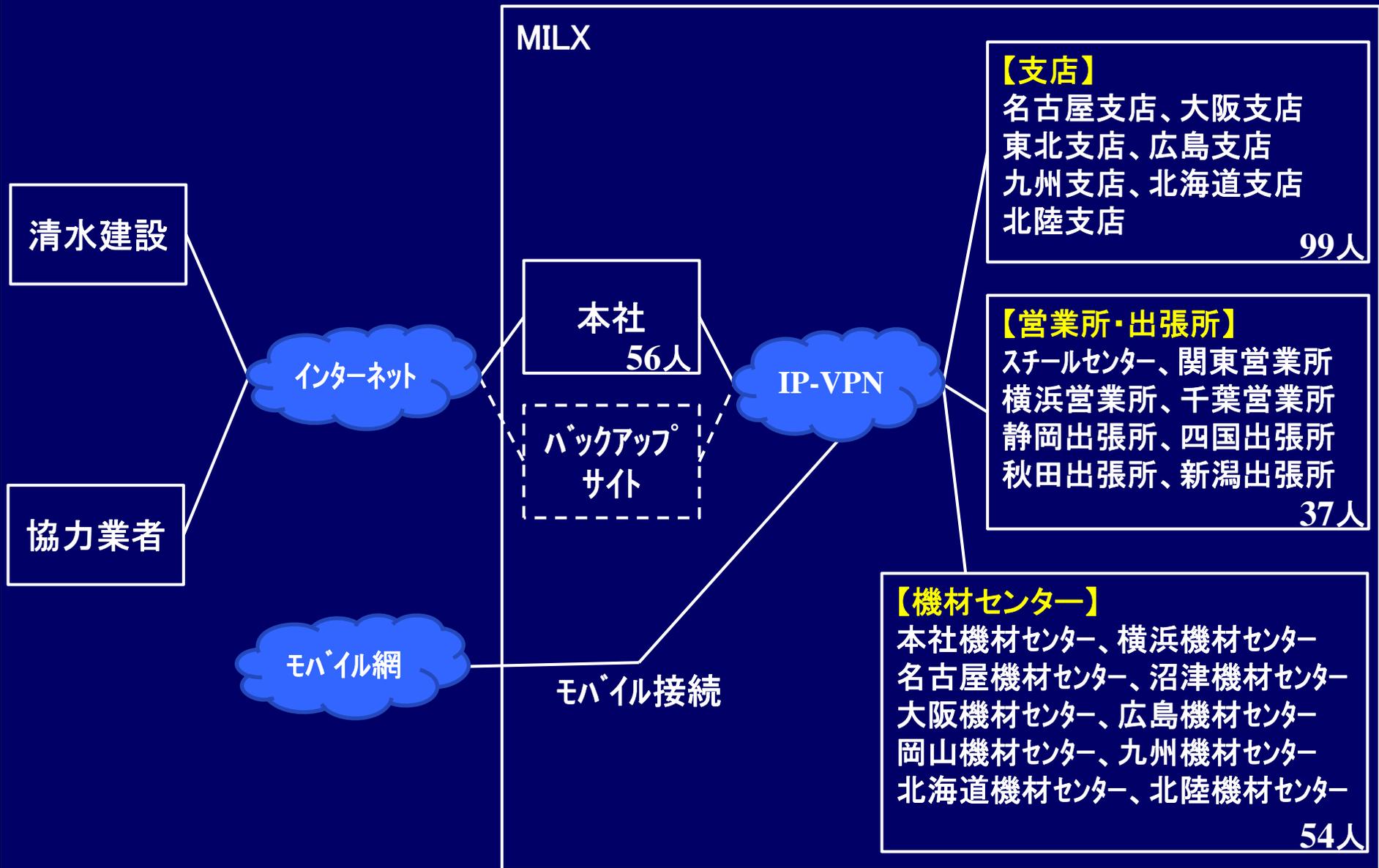
C-TRADE/CORE VER.2.1	取引先とデータ送受信を実行する 必須ソフトウェア ・購買見積～注文～出来高、請求
C-TRADE/BROWSE VER.2.1	業務システムとEDIシステムの連携 ・物件管理・受信データ振分・メール通知
C-TRADE/CONTRACT VER.2.1	電子契約システム構築のための ソフトウェア ・原本性、見読性の確保を保障



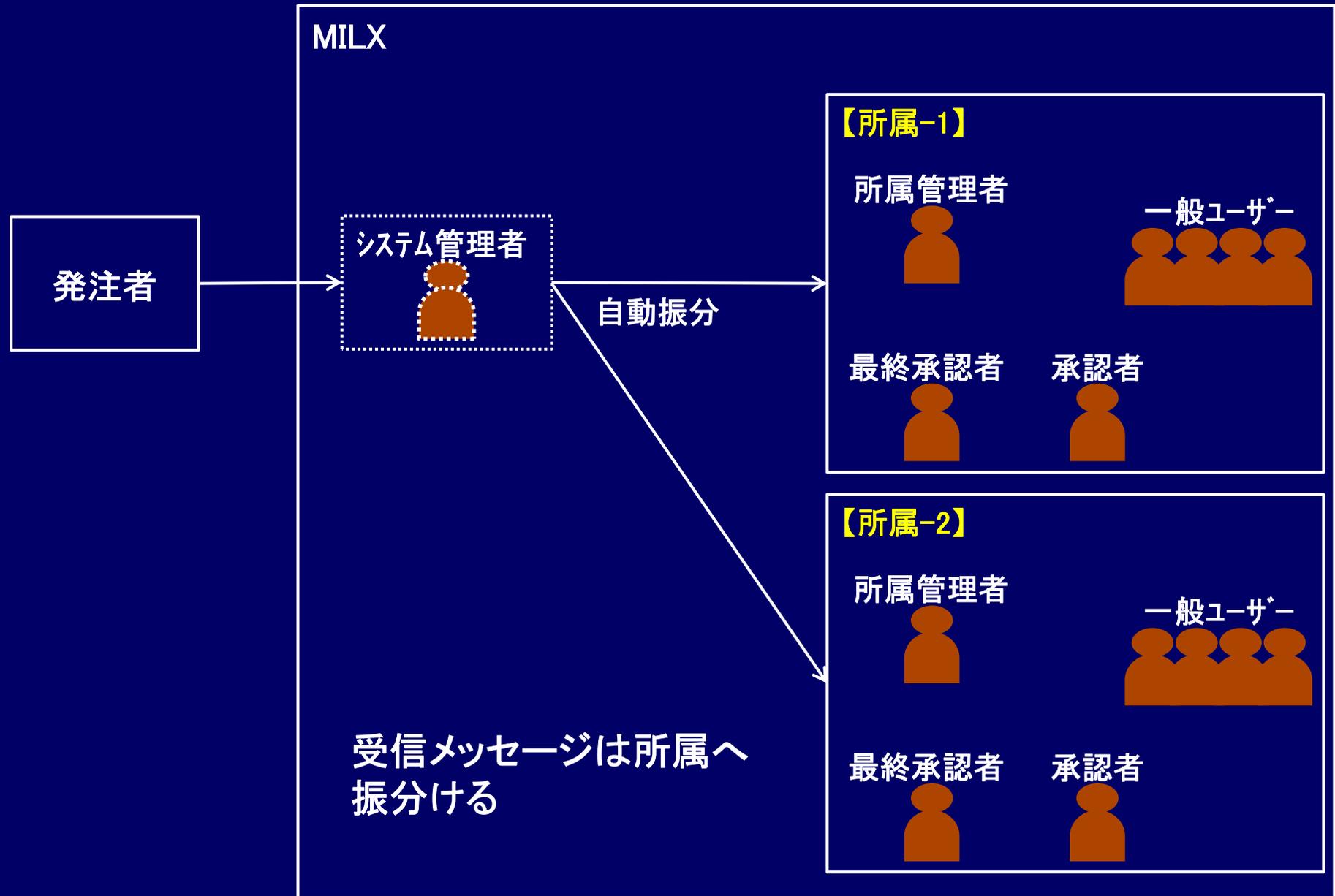
BESstPRO-CI

CI-NET LiteS準拠
内訳書編集システム

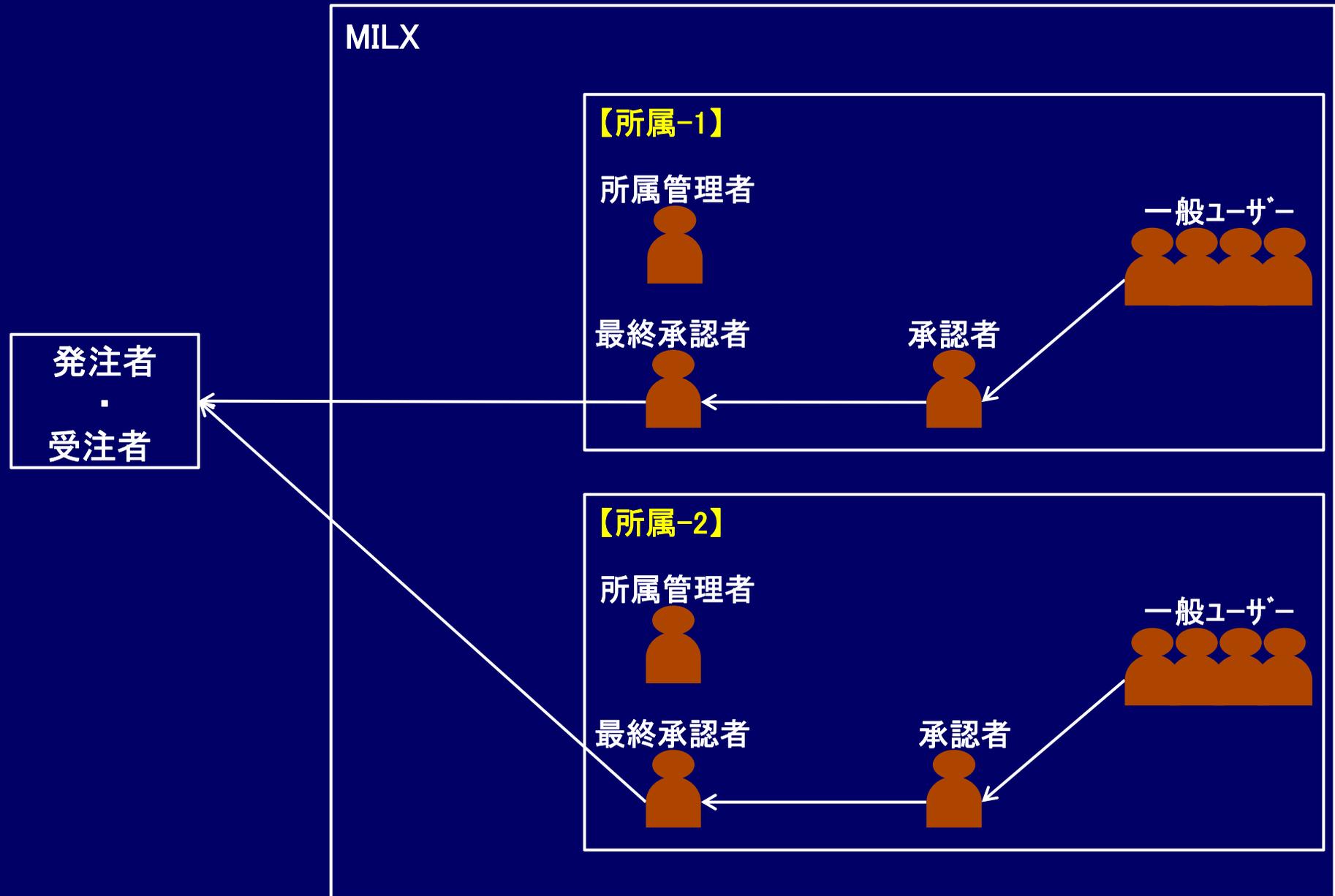
動作環境(本支店)



ユーザー管理(振分)



ユーザー管理(承認)



独自機能の追加(その1)

■ 連携(SCM)

- ・清水建設から受信した見積依頼を流用し
協力業者へのお見積依頼を作成(標準機能)
- ・協力業者から受信した見積回答を流用し
清水建設向けの見積回答を作成
- ・上記見積回答作成時、明細金額の一括変換(一定の率等)
- ・画面上で協力業者のメッセージが採用等判別できる機能

独自機能の追加(その2)

■ ログイン時のパスワード強化

- ・有効日数
- ・最少桁数
- ・履歴管理
- ・誤入力回数
- ・初期パスワード有効日数
- ・期限切れ事前警告
- ・その他

社内標準に準じたカスタマイズで機能追加

利用状況

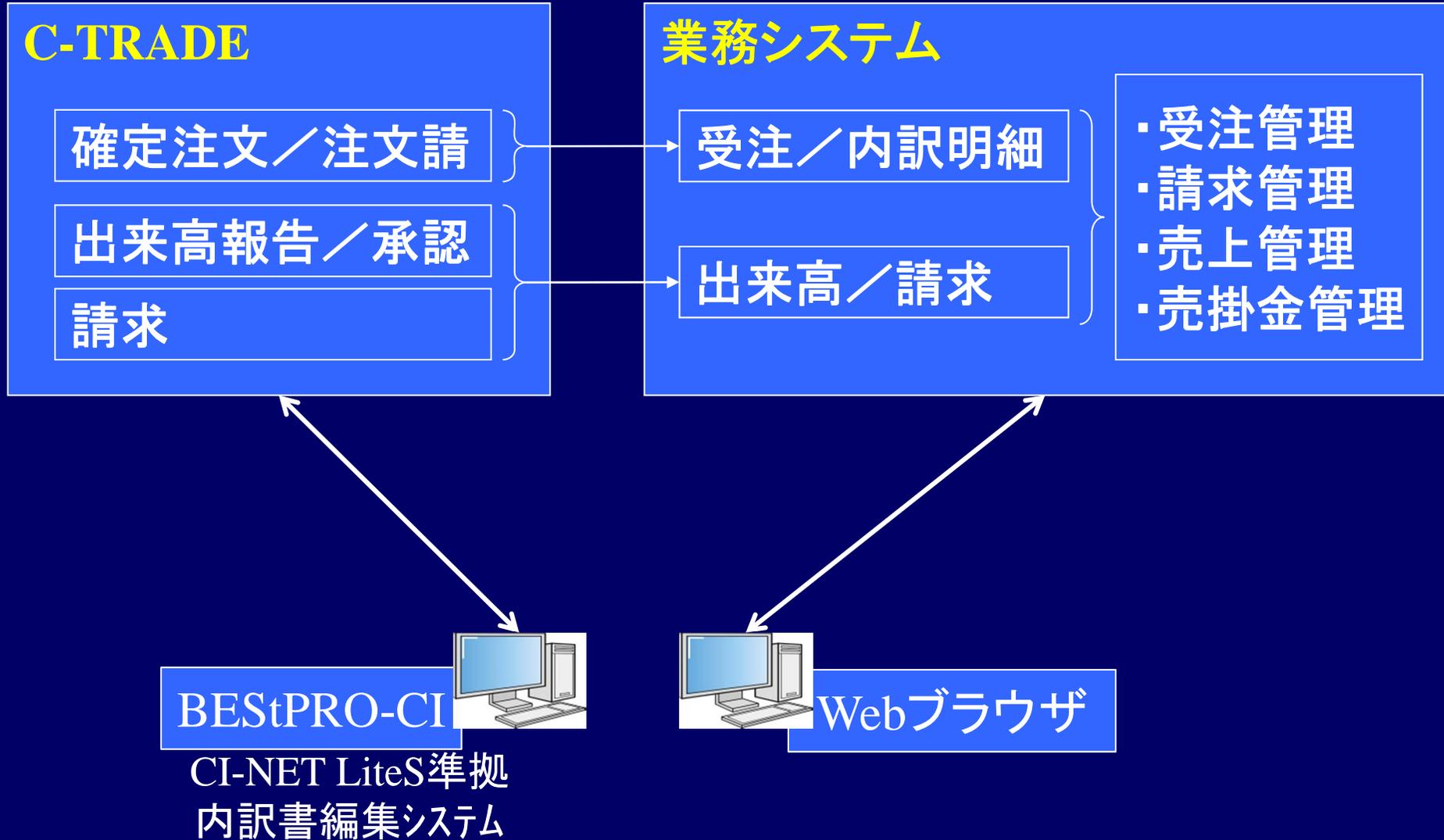
■ 1次の受注企業として(対清水建設)

- ・購買見積依頼／回答
- ・確定注文／注文請 (8,112件／H22年度)
- ・出来高報告／請求

■ 1次の発注企業として(対協力業者)

- ・購買見積依頼／回答
- ・確定注文／注文請 (656件／H22年度)
- ・約110社の企業様と取引中

業務システム連携



活用例

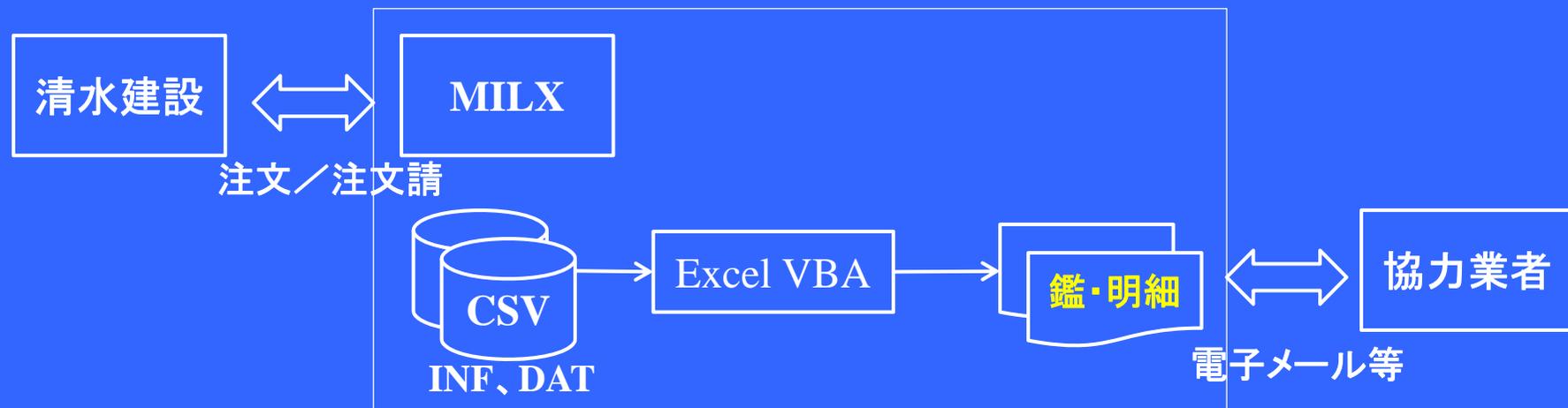
■ 注文データの活用

清水建設との注文データを利用し、鑑部と明細部の帳票を作成



協力業者さんとのやり取りに全国規模で活用

東北支店の改善提案 ⇒ 情シスで標準化・メンテナンス



評価

■ メリット

- ・操作性向上、共通化、容易で高速な検索
- ・印紙税削減
- ・データ入力作業の軽減(二重入力排除)
- ・大量文書の一元管理(管理コスト削減)
- ・その他コスト(郵送、持参の手間削減)

■ 課題

- ・インフラの安定運用 ⇒ ネットワーク、電子メール、サーバー
- ・IDと担当物件
- ・社内システムとの連携
- ・鍵交換の自動化
- ・小企業との接続 ⇒ 料金等難しい？

今後の方向性

■ CI-NET

- ・協力業者との接続数UP ⇒ 大企業ばかりではない
- ・協力業者との出来高・請求
- ・C-TRADE CORE 自動鍵交換オプション
- ・下見積りはFAXが多い ⇒ 電子化したい
- ・協力業者も利用するシステムとの融合(例えばGFS等)
- ・生コン、警備等の協力業者とは、Excelのメール添付も多い
⇒ データの標準化

■ 業務システム連携

更に連携を強化し、煩雑な処理を削減

- ・清水建設 ⇒ 紙、電子請求
- ・協力業者 ⇒ 紙、電子契約

END